



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2013. 11 月号

秋期特別展

蔵出し！びっくり・はてな資料展



12月8日(日)まで開催中!

博物館の収蔵室から選び抜いた 39 点の変わり種資料を、「びっくり!」「めずらしい!」「これ何だろう?」「どうしてこうなるの?」の 4 つのカテゴリーに分けて展示しています。謎解き感覚でご覧になるとおもしろさが倍増するかも!?



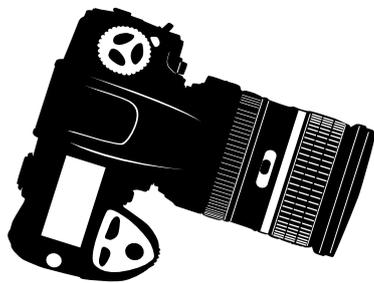
「博物館のびっくり箱」コーナーでは、さわれる資料とにおいをかぎわける資料を用意しています。



「ホントにこれは何だろう?」では、あえてわからない資料を紹介しました。どなたか教えて下さい。

関連行事のご紹介

- ◆展示解説 11月2日(土)の午後1時~1時50分 特別展示室 参加自由
- ◆収蔵室見学ツアー 11月10日(日)と12月1日(日)の午後3時~3時50分 受付前に集合 参加自由
- ◆秋のイブニングミュージアムウィーク「連続講座ーびっくりはてなの資料を語る」
11月5日(火)~10日(日)の午後6時~7時 講堂 参加自由 (詳しくは2頁をご覧ください)



なにこれ?



スナップ作品募集



(作品例) 足元に注意! 「相模川原点」
相模川左岸の相模川河口には、国土交通省が設置した相模川原点があります。標識には0.0 kmの文字が刻まれています。今まで注目されたことがありませんでした。

今回の特別展では、博物館の収蔵資料から、アッと驚く不思議なモノたちを展示しています。不思議なモノは、収蔵品ばかりではありません。街や海や野山や散歩の途中でも、“こりゃ何だ?”という不思議なモノや風景に出会います。そこで、博物館では、市民の皆さまに呼びかけて、「なにこれ?スナップ」を募集します。“こりゃ何だ?”という不思議なモノや風景を見つけたら、ぜひ写真に撮って博物館へご投稿ください。“この場所にはこんな変わったモノがある”という情報提供でもかまいません。投稿されたスナップ写真のなかから、特別展の主旨にふさわしい作品を選び、展示します。ふるってご投稿ください。お一人で何点でもかまいません。



募集要項

1. 募集期間 平成 25 年 10 月 12 日 (土) ~ 11 月 30 日 (土)
2. 投稿方法

博物館にある応募用紙に必要事項を記入し、写真を添えて直接博物館受付へお持ち込みください。郵送・Eメールでも受け付けます。写真は画像データ、プリント写真のどちらでもかまいません。写真サイズは問いません。投稿された写真プリントおよび画像データを記録した媒体 (SDカードや USB メモリーなど) の返却は、後日、博物館へ受け取りに来ていただきます。



郵送の場合

〒254-0041 平塚市浅間町 12-41 平塚市博物館「なにこれ?スナップ」係宛へ。



メールの場合



nanippu @ city.hiratsuka.kanagawa.jp へ、表題を「なにこれ?スナップ」として、写真を添付して送信してください。添付ファイルの容量は 5MB 以下でお願いします。メールの場合は、必要事項 (タイトル・説明・写真撮影日・投稿者住所・連絡先) が記載されていれば、応募用紙は必要ありません。

秋のイブニングミュージアムウィーク

「連続講座ーびっくり・はてなの資料を語るー」

11月5日(火) ~ 11月10日(日)は、開館時間を午後7時まで延長して、秋の特別展に関連したイベントを実施致します。各分野の学芸員が展示資料の背景をじっくりと語ります。ご参加ください。

11月5日(火)「地質」:タマネギ石の不思議

11月8日(金)「歴史」:展示資料、何が書いてあるのだろう

11月6日(水)「考古」:虫メガネの考古学

11月9日(土)「天文」:宇宙の不思議な大構造

11月7日(木)「民俗」:子育てのまじない

11月10日(日)「天文」:私と小石と星くずと

時間はいずれも 18 時 ~ 19 時で、博物館講堂で実施します。事前申し込みは必要ありません。

寄贈品コーナー 鎌倉から江戸期の刀剣展

武器から生まれた日本刀。その機能だけでなく、研ぎ澄まされた美しさから永い年月大切に保存されてきました。その展示品をご見学ください。

会 期：11月1日(金)～11月10日(日)

開館時間：11月1日(金)～4日(月)：9時～17時

11月5日(火)～10日(日)：9時～19時

共 催：日本美術刀剣保存協会湘南支部



寄贈品コーナー アイソン彗星を迎え撃て！！

会 期：11月13日(水)～12月27日(金)

太陽に大接近し、明るくなると期待されているアイソン彗星。彗星はその奇妙な姿から古代から畏られてきました。現代では太陽系形成の謎を解くカギとなる天体として注目されています。彗星とはどのような天体か、アイソン彗星はどのように見えるのか、模型やパネルでご紹介します。



10月13日に真鶴で撮影されたアイソン彗星
撮影：鷹 宏道(当館学芸員)

<アイソン彗星に関する連続講座も開催します>

連続講座：「アイソン彗星を迎え撃て」

第2回：「彗星はどのような天体か」 11月3日(日・祝) 15時30分～17時 講堂

第3回①：「アイソン彗星を観察しよう」 11月9日(土) 15時30分～17時 プラネタリウム

②：「アイソン彗星を観察しよう」 11月16日(土) 15時30分～17時 プラネタリウム

第4回：「星空の古代史：歴史上の彗星と人々」 12月7日(土) 15時30分～17時 プラネタリウム

第5回：「彗星と流星群」 12月14日(土) 15時30分～17時 プラネタリウム

毎年恒例！

フリートーク・プラネタリウム 11月2日(土)～12月1日(日) (1)11時～ (2)14時～ 各回50分

プラネタリウム秋の風物詩、フリートーク・プラネタリウム。今年は新学芸員・藤井大地を加え澤村館長、鷹、塚田と総勢四人、博物館史上最多の天文担当学芸員が投影を担当します。内容は始まるまでわかりません!? 話題は星座から最新の天文学まで多岐にわたります。個性豊かな四人の投影、ぜひお楽しみいただき、お気に入りの投影を見つけてみてください。



◀ 澤村 泰彦 館長
“五か月ぶりの本番舞台”

11/10 11:00,14:00



鷹 宏道 学芸員▶
“ディープな宇宙へ”

11/2 11:00,14:00
11/23 14:00



◀ 塚田 健 学芸員
“多彩なメニューをご用意”

11/3 11:00,14:00
11/9 14:00
11/17 11:00,14:00
11/30 11:00,14:00



藤井 大地 学芸員▶
“プラネタリアン一年生”

11/16 11:00,14:00
12/1 11:00,14:00

● 毎回、その日の夜の星空の解説は行います。

● 毎回、12月に見やすくなると言われているアイソン彗星の観察方法についても紹介します。

